

# 令和5年度 第1回 宇都宮市民大学運営協議会

日 時 令和5年4月19日（水）  
午前10時00分～午前11時00分（予定）  
会 場 人材かがやきセンター研修室  
（宇都宮市中央生涯学習センター5階）

## 次 第

### 1 開 会

#### (1) 委員紹介

### 2 議 事

#### (1) 報告事項

##### ・報告第1号

令和4年度宇都宮市民大学事業報告について・・・資料1

##### ・報告第2号

令和4年度宇都宮市民大学収支決算について・・・資料2

#### (2) 協議事項

##### ・協議第1号

令和5年度宇都宮市民大学事業計画（案）について・・・資料3

##### ・協議第2号

令和5年度宇都宮市民大学収支予算（案）について・・・資料4

### 3 そ の 他

### 4 閉 会

# 宇都宮市民大学運営協議会委員名簿

任期：宇都宮市民大学運営協議会運営要領第4条の規定による期間  
(令和4年9月1日～令和6年8月31日)

令和5年4月3日現在

No.	氏名	所属団体等役職
◎ 1	<u>しまだ</u> <u>しげお</u> 島田 繁雄	宇都宮メディア・アーツ専門学校 学校長
○ 2	<u>まるやま</u> <u>じゅんいち</u> 丸山 純一	文星芸術大学 副学長 宇都宮市民大学講座企画運営選考委員
3	<u>ながい</u> <u>やすゆき</u> 永井 康之	国立大学法人 宇都宮大学 地域創生推進機構 地域創生推進支援室長
4	<u>おおいし</u> <u>かずひろ</u> 大石 和博	宇都宮共和大学都市経済研究センター 運営委員長 (シティライフ学部教授)
5	<u>おおたに</u> <u>よしひさ</u> 大谷 佳久	株式会社 栃木放送 報道制作局長
6	<u>さいとう</u> <u>あきひこ</u> 齋藤 明彦	株式会社 下野新聞社 編集局総務部長
◇ 7	<u>のなか</u> <u>まさとも</u> 野中 正知	公益財団法人 とちぎ未来づくり財団 常務理事兼事務局長
◇ 8	<u>あかばね</u> <u>あきお</u> 赤羽 幸雄	とちぎボランティアNPOセンターぽ・ぽ・ら マネージャー
9	<u>ほしかわ</u> <u>みちこ</u> 細川 みち子	宇都宮市生涯学習センター運営審議会 委員
10	<u>ばば</u> <u>ともひさ</u> 馬場 知久	宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ グループ「宙」代表

◎ 会長      ○ 副会長      ◇ 監事

※下線は新任の委員

## 宇都宮市民大学運営協議会事務局名簿

役 職	氏 名	備 考
事務局長	鈴木 康子	教育委員会事務局 生涯学習課課長
事務局次長	高桑 昭祥	" 生涯学習課課長補佐
事務局員	藤田 直樹	" 生涯学習課係長
	久保 孝弘	" 生涯学習課総括
	<u>角田 佑樹</u>	" 生涯学習課社会教育主事
	児矢野 はるひ	" 生涯学習課主事
	田中 大翔	" 生涯学習課主事
	<u>釜井 羽依</u>	" 生涯学習課主事
	毛塚 正子	" 生涯学習課会計年度任用職員
	塚田 哲夫	" 生涯学習課会計年度任用職員
	松永 佳寿子	" 生涯学習課会計年度任用職員

※下線は新規の事務局員

## 令和 4 年度宇都宮市民大学事業報告について

## 1 専門講座

- (1) 前期専門講座 ( 5 月 23 日～ 7 月 15 日) 別紙 1, 別紙 2  
 (2) 後期専門講座 ( 10 月 7 日～ 12 月 20 日) 別紙 3, 別紙 4

項 目	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
講 座 数	12 講座 (対前年度△2 講座)	14 講座 (対前年度+8 講座)	6 講座
受講者数	596 人 (対前年度+63 人)	533 人 (対前年度+309 人)	224 人
修了者数	541 人 (対前年度+40 人)	501 人 (対前年度+296 人)	205 人
修 了 率	90.8% (対前年度△3.2 ポイント)	94.0% (対前年度+2.5 ポイント)	91.5%
定員の上限	50 人 (対前年度+20 人)	30 人	30 人
備 考	・前年度に申込み多数の講座を「リクエスト講座」として実施	・令和 2 年度前期に中止した講座を一部取り入れて実施	・新型コロナのため前期講座中止

2 公開講座 別紙 5, 別紙 6, 別紙 7

令和元年度まで、前・後期講座の開講に際して「合同開講式・公開講座」を実施してきたが、令和 2 年度からは在り方を見直し、「公開講座」を年 1 回の独立した講座とした。しかし、令和 2・3 年度は新型コロナにより開催を中止としたため、令和 4 年度が初の開催となった。

項 目	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度	参 考	
				令和元年度 (後期)	令和元年度 (前期)
講 座 名	宇宙すごいぜ! はやぶさ・はやぶさ 2 の挑戦	宇宙すごいぜ! はやぶさ・はやぶさ 2 の挑戦	東日本大震災から 10 年あの日、僕は…	あそびの天才 道具を使う天才 「鳥」	人生 100 年時代 地域で暮らす豊かな生活のために
開催手法	参集型とオンライン型	中止 (参集型)	テレビ放映型	参集型	参集型
会 場	ライトキューブ 宇都宮中ホール	文化会館 大ホール	とちぎテレビでの特別番組放映	宇都宮市立南図書館	宇都宮短期大学 長坂キャンパス
受講者数 (うち新規)	380 人 (241 人)	/	/	125 人 (10 人)	158 人 (22 人)

## 3 総評・課題

- ・ 専門講座については、感染防止対策を十分に講じた上で、定員を増員したことから、前年度よりも受講者数・修了者数が増え、より多くの市民に学習機会を提供できた。
- ・ 公開講座については、受講者募集チラシの配布先を小中学校等へ広げ、19 歳以下は無料としたため、幅広い年代層からの申込みがあると同時に、従来の参集型とオンライン型を組み合わせたハイブリッド型で講座を開催したことにより、新規受講者の獲得につながった。
- ・ 専門講座においても、幅広い市民に受講機会を提供できるよう、従来の参集型とオンライン型を組み合わせたハイブリッド型による講座の開催を検討する必要がある。

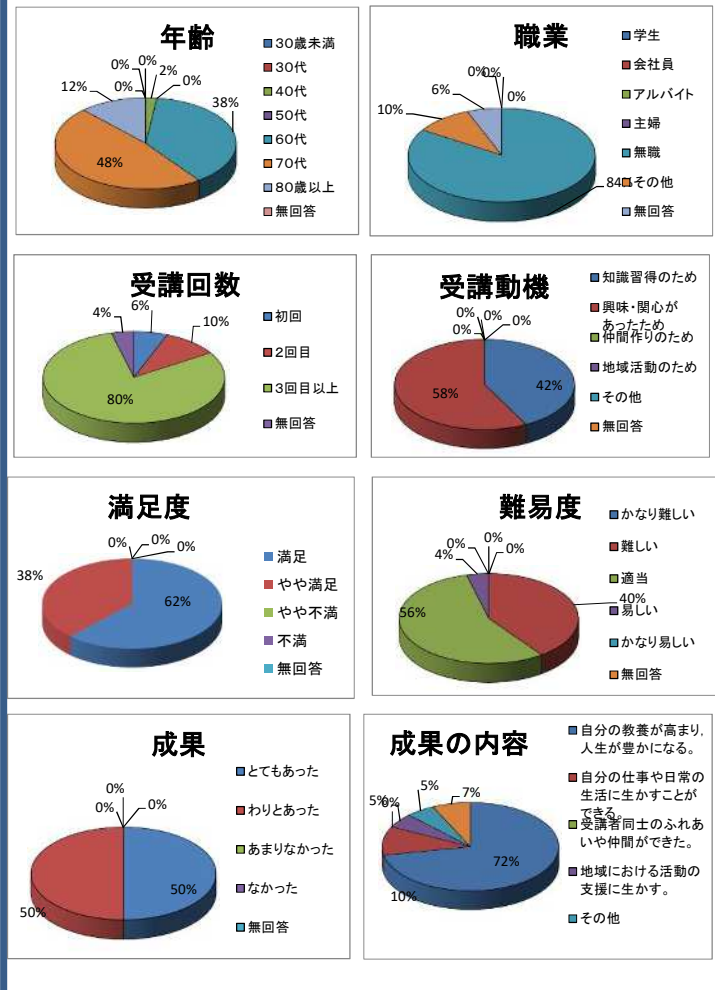
令和4年度宇都宮市民大学前期講座の実施状況について

コース	講座名 (開講数)	講師	開催期間	(募集定員) [応募者数] 受講者数	修了者数 (修了率)	講座の評価	(参考) 受講者の感想・意見
I	太平記と南北朝の謎！ ～戦乱を招いた後醍醐天皇と足利尊氏の理想～  (全8回)	栃木県立博物館 学芸員 山本 享史 宇都宮短期大学 教授 江田 郁夫	5/23～ 7/11	(50) [108] 56	54 (96.4%)	九州から上洛して京都を制圧し、持明院統の光明天皇を立てた足利尊氏と、京都を逃れて吉野に移った大覚寺統の後醍醐天皇の対立について時代の流れをもとに学んだ。宇都宮にゆかりのある武将たちの人柄や戦との関わりも学び、新たな発見のある講座となった。NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送時期と重なっており、講義の導入前日のドラマの展開を振り返ってから講義が始まるなど、受講生にとっても関心を持ちながら楽しく学ぶことができる講座であった。	■満足度 100.0% ■感想 ・NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送が重なっていたことで、より関心をもって楽しく学ぶことができた。 ・様々な史跡、文化財などを目にしたときに楽しみが増えた。 ・郷土に関係のある人物の話が良かった。 ・宇都宮城の案内をしているので、その内容に役立てていきたい。 ・地元の歴史、今日までの経緯を知ることが、市民として大変重要だと思う。子どもたちにも伝えるべきだと思う。
I	宇都宮城下の社寺を探る ～宇都宮の歴史的景観～  (全7回)	宇都宮市文化財保護審議委員会 委員 大嶽 浩良	5/24～ 7/5	(50) [96] 57	52 (91.2%)	明治初めに神仏分離令が出されたあとも、神棚と仏壇が同じ家に祀られているなど、民衆の生活の中には神仏習合が根付いていることを学んだ。また、全7回の講義を通して、宇都宮市にある神社と寺院の成り立ちや宇都宮氏との関係を、『下野国誌』などの史料をもとに掘り下げた。受講後に自分の足で寺巡りをする受講生もおり、講師が実際に足を運んで得た、文献に落とし込まれていないエピソードが受講生にとっても刺激になったようだ。	■満足度 97.8% ■感想 ・街を歩いていて目にするお寺を、今まで素通りしていたが、これから目についた時には立ち寄って「いわれ」などを確認したい。 ・宇都宮にかなり古い社寺が多数あったことに驚いた。 ・大変貴重な資料に触れることができよかった。 ・学んだことに関連図書を読んでいきたいと思った。 ・大嶽先生の入念な下調べと各書物の読み込みが大変感銘を受けるとともに、歴史が横に広がっていく面白さを感じた。 ・敷居の高かった寺院の歴史を知ることができて良かった。
II	未来の世界のために！ ～より良い環境を作るために、今、私たちができることとは～  (全8回)	帝京大学理工学部バイオサイエンス学科 教授 篠村 知子 帝京大学 名誉教授 鮑本 一裕 帝京大学理工学部バイオサイエンス学科 教授 柳原 尚久 准教授 朝比奈 雅志 株式会社三菱ケミカルホールディングス マネージャー 武村 清和 うじいえ自然に親しむ会 会長 高橋 伸拓	5/27～ 7/15	(50) [46] 41	36 (95.6%)	温暖化・汚染・生物種の激減等の地球環境問題の現状を改めて認識した後、地球にやさしいエコ生活やケミカルリサイクルについて学ぶとともに、ユーグレナ等の微細藻類やゲノム編集食品、昆虫食や培養肉等、未来の食料へ向けて貴重な資料をもとに学んだ。豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐために私たちが今、行動すべきことを考えることで、未来の世界へ思いを馳せる講座となった。受講生の関心度も高く、6人の講師もそれに応えるべく、熱量の高い講義となり、時には地球や動物たちの現況に涙するシーンも講師、受講生共に見受けられた。	■満足度 97.0% ■感想 ・将来の食糧不足について、真剣に考えなければならぬと恐れを感じた。 ・様々な講師の話が聴くことができ良かった。 ・個人でも実践できることが今まで以上にあったことも学んだので、早速実践しようと思う。 ・環境問題はもう身近に危機が迫っているのを感じた。 ・孫たちに問題提起や話し合いが少しでもできるようにしたい。 ・社会人になると新しい知識を得る場がなくなるので、このような機会がありありがたかった。
II	幸せな暮らしのためのデジタル化 ～現代社会のITトレンドを学ぼう～  (全6回)	帝京大学理工学部 情報電子工学科 教授 小川 充洋	5/28～ 7/2	(50) [48] 45	43 (95.4%)	携帯電話・スマートフォンの進化、インターネットと社会、進化する人工知能、拡張現実と仮想現実、仮想通貨など、現代のデジタル関連のキーワードを取りあげ、これまでの研究や社会との関わりについて詳しく学んだ。専門的な内容であるため、難しいと感じる受講生も多くいたようだが、受講後に資料を家で読み直したり、疑問点を講師に質問したりと、受講生の関心の高さが分かる講座であった。講師が紹介したイベントに実際に足を運ぶ受講生もおり、新しい学びのきっかけとなった。	■満足度 74.2% ■感想 ・社会で目や耳にするデジタル関連の言葉への理解ができた。 ・先生が紹介していたメディア芸術祭で体験したことで、より理解が深まった。 ・難しかったが、家で資料を読み直し、先生の説明を思い出して少しは理解できた。大変勉強になった。 ・ネットワークやデバイスなどの説明が大変分かりやすく良かった。 ・デジタル化が、これほど幅広く、奥の深いものだと知らなかった。これを機にさらに学んでいきたい。
III	「古今和歌集」「新古今和歌集」の世界 ～和歌から学ぶ日本の伝統文化～  (全6回)	立正大学文学部 教授 渡邊 裕美子	5/30～ 7/4	(50) [66] 58	55 (94.8%)	平安・鎌倉期に編さんされた「古今和歌集」「新古今和歌集」の成立の流れから始まり、数々の和歌の魅力を丁寧に紹介した講座。受講生たちが日本人の心の奥にある世界を呼び起こされたのは、毎回、帰り際の表情から読み取ることができた。関心の度合いは受講生それぞれであるが、口々に和歌の持つ世界のより深いところへ誘われたとのことであった。これほどまでに受講生の心を揺るがすのは、講師の和歌に対する造詣の深さと多くの方に和歌の魅力を理解してほしいという強い想いであろう。渡邊教授のお話しをもっと聴きたいという声もあがった。	■満足度 87.5% ■感想 ・日本語の言葉の響き、美しさを再発見した。 ・古今和歌集を読み直してみようという気持ちになった。 ・講座を通して、趣味の短歌に対して、ますますやる気が湧いてきた。 ・古典を学ぶには、古文書が読めるとな面白く思う。 ・屏風歌等を実際に見てみたいと思った。 ・「古今」「新古今」だけでなく、万葉、百人一首、西行と内容の広がりがあり、面白かった。 ・マスクをしているからか、講師の声が少し聞き取りにくかった。
III	暮らしのなかの歴史と文化 ～江戸庶民と平安貴族の日々をもとに～  (全6回)	宇都宮短期大学 宇都宮共和大学 非常勤講師 寺内 由佳 宇都宮短期大学 客員教授 河添 房江 東京学芸大学 名誉教授	6/3～ 7/15	(50) [53] 48	42 (87.5%)	江戸庶民と平安貴族について、2人の講師から「暮らし」という視点で講義をいただいた。江戸庶民については、城下として栄えた宇都宮の「商い」や「祭り」について詳しい講義があり、今に続く商家の名前や、商い高による番付なども取り上げられ、受講生は江戸期の宇都宮の様子をととても身近に感じる講座となった。平安貴族の暮らしについては、主に「源氏物語」をもとに、当時の貴族階級で行われていた年中行事や有職故実を中心に講義があり、源氏物語や和歌への興味を深める機会ともなった。	■満足度 86.2% ■感想 ・江戸時代の旅のこと、菓子のこと、古着屋のことなど今につながっている店などもあり身近な話として感じた。 ・寺内先生の講義は、自分の足で歩いて得た資料が面白かった。 ・改めて、源氏物語をじっくり読みたくなった。 ・宇都宮市の昔の商店街などが分かり、大変興味深かった。 ・日常生活、男女の情など、源氏物語が読み継がれる理由が分かった気がする。和歌や俳句がコミュニケーションツールであったと納得した。

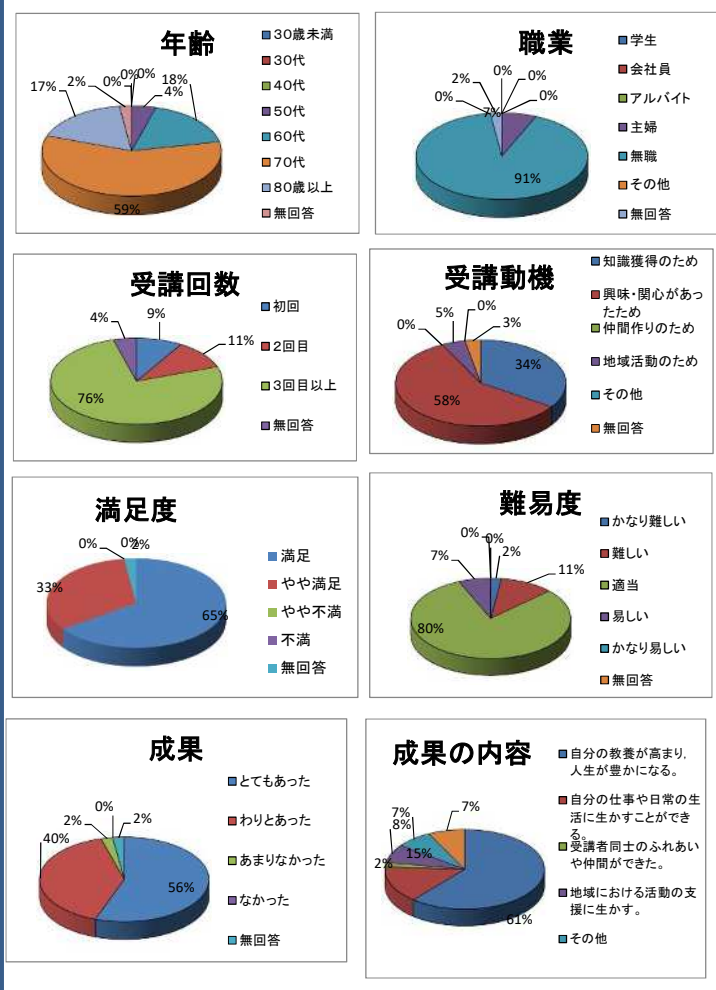
【コース名】 I 郷土を愛する「宇都宮学」コース II 今を読み解く現代社会コース III 暮らしを彩る文化・教養コース	募集定員	300人	【総合的な評価】 6講座中4講座は定員を超える申込みがあり、キャンセルを見込むなど可能な限り定員を増やし受講決定をした。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、3密を回避するなど各種の感染防止策を講じ、全ての講座を予定どおり実施することができた。修了率は例年と同水準の92.4%となった。また、受講者アンケートに関しても、成果が「とてもあった」「わりとあった」との肯定的な回答が多数を占めた。各講座とも受講者の高度で専門的な学習ニーズに応え、知的好奇心を刺激する企画内容であったことから、満足度の高い講座が提供できたものと推察される。 【今後の課題】 引き続き、受講者ニーズの高い歴史や文学等の趣味教養的な講座のほか、現代的課題や旬の話題を取り入れた講座を実施していく必要がある。
	応募者数	417人	
	受講者数	305人	
	修了者数	282人	
	修了率(修了者/受講者)	92.4%	

※修了者数は、4分の3以上の出席者

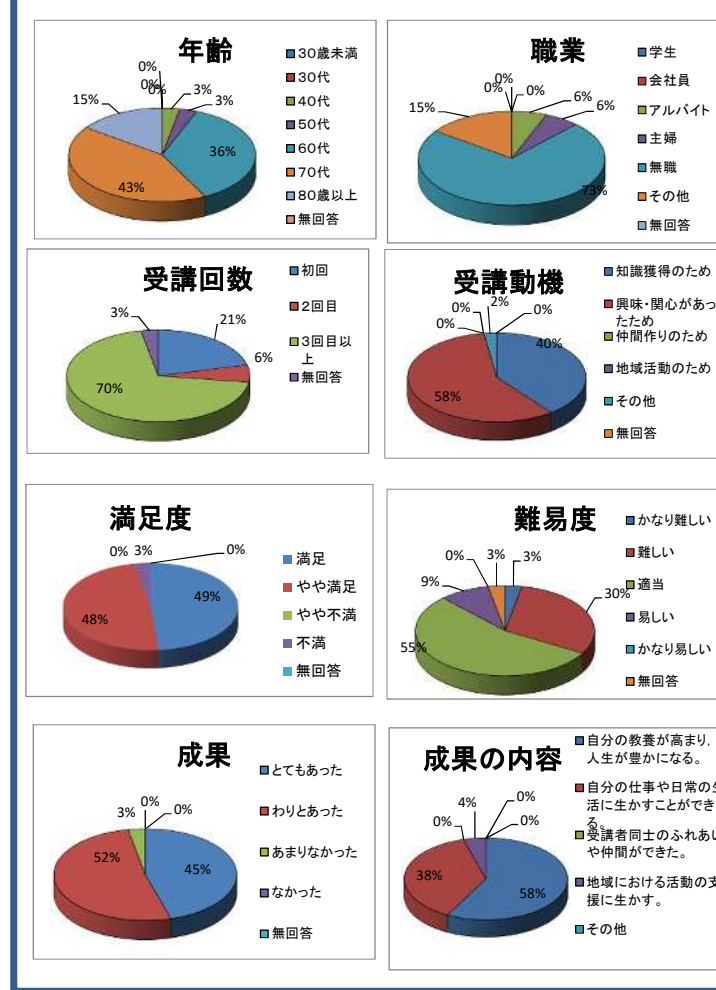
① 太平記と南北朝の謎！



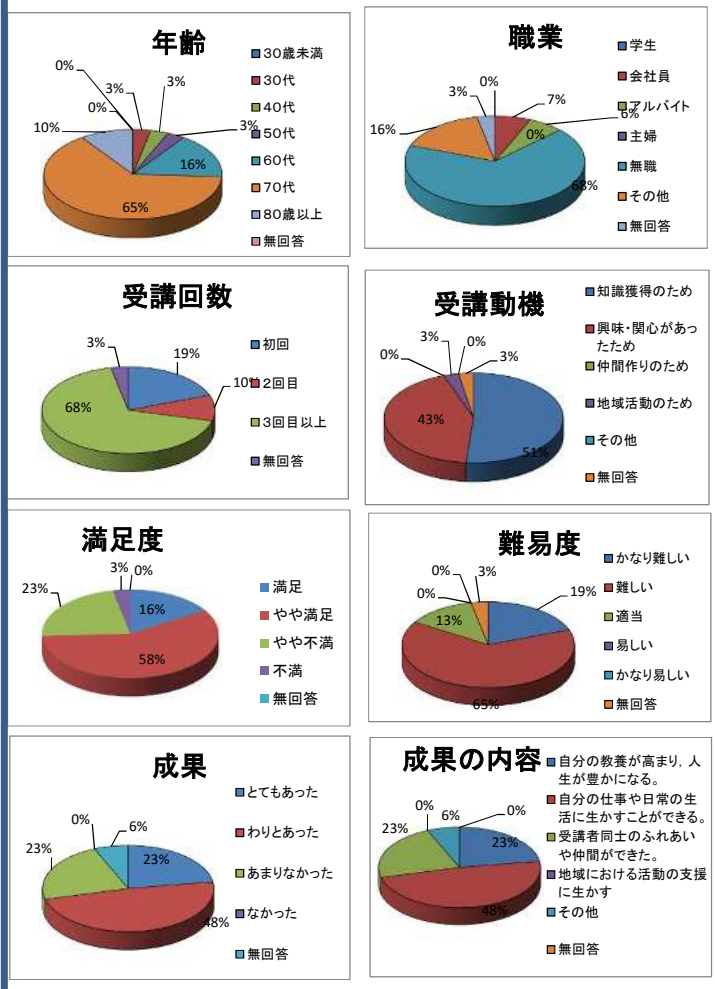
② 宇都宮城下の社寺を探る



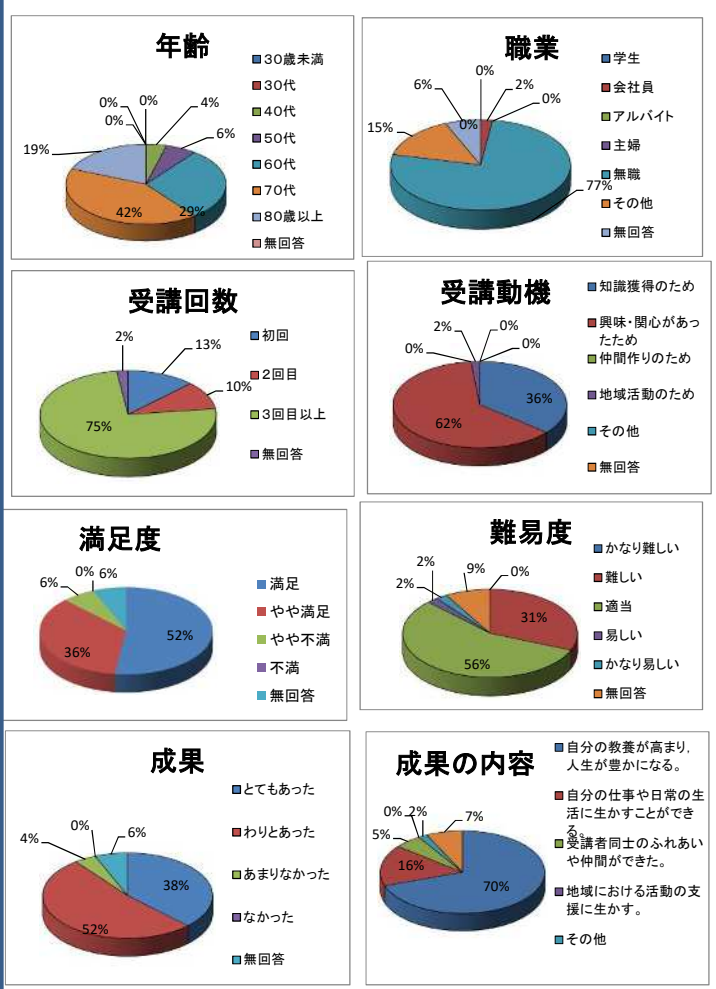
③ 未来の成果のために！



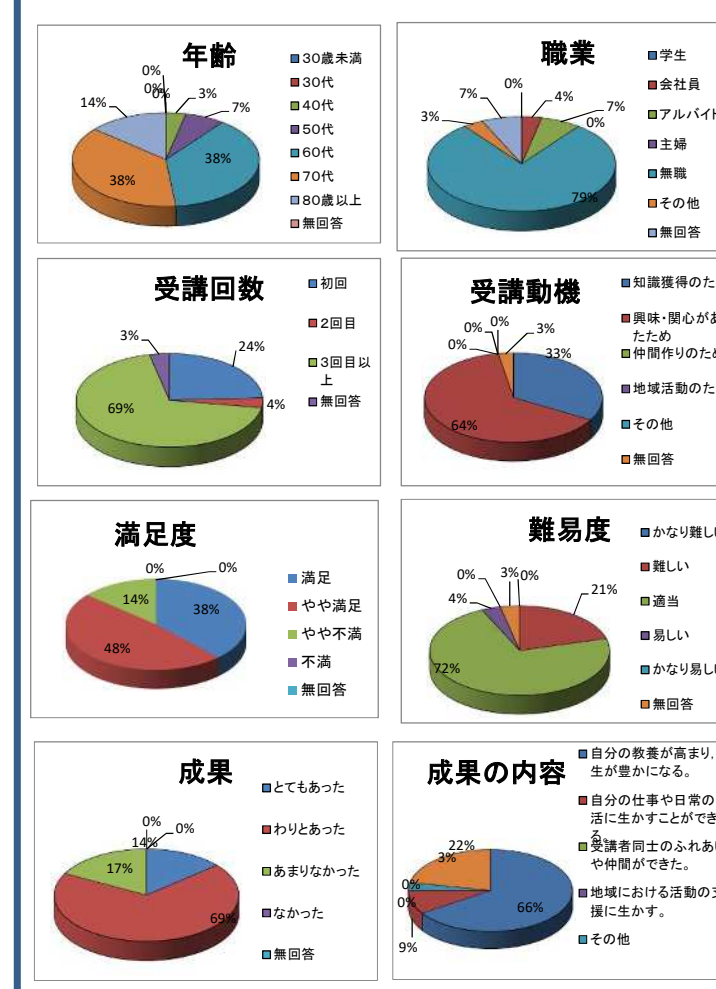
④ 幸せな暮らしのためのデジタル化



⑤ 「古今和歌集」「新古今和歌」の世界



⑥ 暮らしのなかの歴史と文化

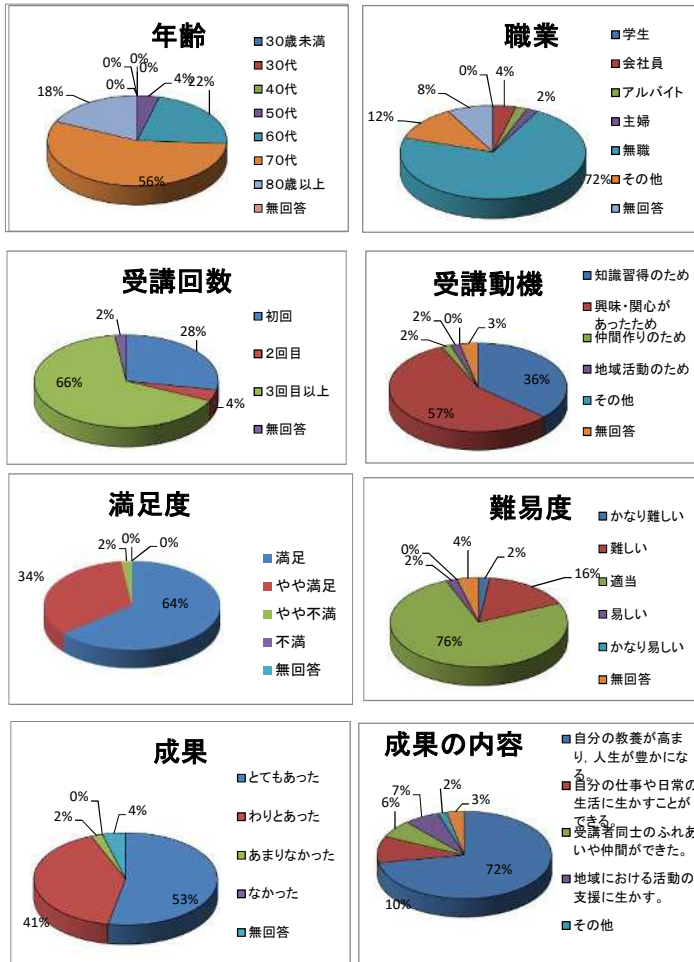


令和4年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について

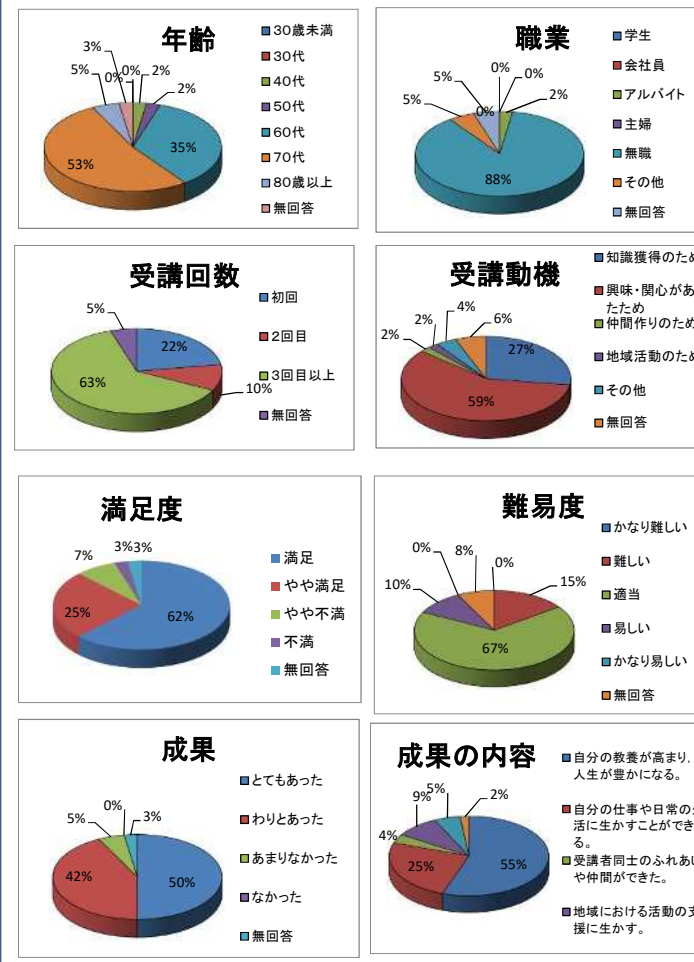
コース	講座名 (開講数)	講師	開催期間	(募集定員) [応募者数] 受講者数	修了者数 (修了率)	講座の評価	(参考) 受講者の感想・意見
I	名城に名称有り！下野の古城 ～館から城郭へ、中世の城の役割～  (全8回)	宇都宮短期大学 教授 江田 郁夫 栃木県立博物館 学芸員 山本 享史 小山市教育委員会文化振興課 課長 佐久間 弘行 那須烏山市教育委員会事務局生涯学習課 学芸員 鈴木 芳英 大田原市黒羽芭蕉の館 学芸員 新井 敦史 宇都宮市教育委員会事務局文化課 主幹 今平 利幸 (第7回：宇都宮市文化財ボランティア協議会)	10/17～ 12/5	(50) [111] 57	56 (98.2%)	下野の国に存在した多くの名城と、その名城に存在した名将について学ぶ講座とあって、多くの受講希望があった。宇都宮市民の地元の城郭に対する関心の高さがうかがえる。城郭周辺の歴史的背景や城郭の防御施設についても講義内容に含まれていたが、これに関してはより深く知りたいと希望する声もあった。	■満足度 98.0% ■感想 ・内容がかなり細部に入っているため、同講義を何回も聴講したい思いがする。細部まで知ることにより、現地での散策に興味が増え、ともに勉強になると思った。 ・教科書や学校で教えない地元の歴史について学習できてうれしく思っている。地元愛や国民としての誇りをあらためて感じられる内容であった。 ・考古学による発掘情報や城址公園現地見学などもあって楽しめた。
I	宇都宮のシンボル二荒山神社 ～由来・歴史と宇都宮氏～  (全7回)	宇都宮二荒山神社 宮司 阿部 惲 栃木県立博物館 名誉学芸員 柏村 祐司	10/7～ 12/2	(50) [59] 55	46 (83.6%)	宇都宮市民が親しみを込めて「二荒さん」呼ぶ「二荒山神社」について、改めてその由来や宇都宮の歴史との関わりを学ぶ講座として企画された。日本の歴史の中で、宇都宮氏の改易、神仏習合から神仏分離、土地令など、二荒山神社の歩んだ歴史の中には、様々な困難の時期もあったが、市民が心の拠り所とする二荒山神社が今なお変わりなくあり、詳しく学ぶことで、より深く「宇都宮」に思いを馳せる講座となった。	■満足度 87.5% ■感想 ・郷土の歴史を知ることが重要であると改めて実感した。今回の講座を受けることができてとてもよかった。 ・地元の知識を広めることは大切だと思うので、家族などにも話して宇都宮の歴史を伝えていきたい。 ・宮司の話があり、二荒山神社がより身近に感じられた。 ・柏村先生の郷土愛を深く感じながら楽しく学んだ。講師の熱意が内容を充実させると実感した。
II	人生100年時代のウェルネスを考える 【宇都宮大学連携講座】  (全7回)	宇都宮大学 助教 カバリエロ 優子 共同教育学部 准教授 久保 元芳 地域デザイン科学部 客員教授 土橋 喜人 准教授 古賀 誉章 農学部 准教授 長田 哲平 准教授 水重 貴文	10/18～ 12/20	(50) [48] 43	35 (81.4%)	各講師の専門分野についての分かりやすい説明により、受講生も意欲的に講座に取り組むことができた。特に、多くの講師がアクティブラーニングを活用し、随時、受講生の2人～4人での話し合いが行われ、その結果、受講生同士のコミュニケーションの円滑化が図られた。	■満足度 97.0% ■感想 ・健康と暮らしについてアドバイスをいただいたおかげで、今後は漫然とではなく、張りのある生活をしようと思うとともに、他の高齢者にもこのことを伝えていきたい。 ・ウェルネスとは非常に広い分野での勉強が必要と思った。 ・毎回、身近なテーマであり、興味深く聴くことができた。特に、自らの健康状態を自覚するとともに健康の増進に努めなければならぬと思った。
III	仏像の魅力を探る ～鎌倉御家人の信仰と造物～  (全6回)	文星芸術大学総合造形専攻地域創生分野 教授 大澤 慶子 日本庭園学会 会長 立正大学 非常勤講師 大澤 伸啓	10/27～ 12/8	(50) [95] 58	53 (91.4%)	鎌倉の御家人たちが活躍した時代を、仏像と浄土庭園という切り口で掘り下げた講座。幅広い知識と経験を有する講師から、大河ドラマの話題も織り交ぜながら、受講生に理解しやすいようにお話しいただいたので、受講生たちも得るものが大きかったようである。また、県内の身近なところにも当時の仏像や庭園があることや、東大寺の仏像と宇都宮氏との関係などから、歴史的建造物により親近感を持てるようになったようだ。	■満足度 74.2% ■感想 ・仏像そのものと安置されている寺院、庭園の両面からの立体的なお話して興味深かった。 ・身近なところの仏像や浄土庭園のお話を聞いてうれしくなり、コロナが収束したら出かけてみたいと思う。 ・身近な文化財の意味を再発見できてとても良い講座だった。 ・大河ドラマと関連の話題を聞くことができて楽しかった。
III	浮世絵の魅力を知る ～春信・写楽・歌麿・北斎・広重・国芳を極める～ (全6回)	那珂川町馬頭広重美術館 主幹(学芸員) 早稲田大学オープンカレッジ 講師 長井 裕子	11/4～ 12/9	(50) [94] 59	50 (84.7%)	熱烈な浮世絵ファンから浮世絵に興味はあるものの知識がなかった方まで幅広い層が受講されていた。この講座をきっかけに馬頭広重美術館に足を運んだ方も複数人いた。プロジェクターで映し出される浮世絵に先生が細部まで説明を加えていく手法により、一枚一枚の浮世絵を深く味わうことができる内容となった。参考図書には鮮やかな刷りの画集などもあり、熱心に鑑賞する受講生が多かった。	■満足度 88.9% ■感想 ・特徴ある浮世絵師6人を取り上げた講座は大変面白かった。特に県内に広重美術館があることで、建築的要素と文化芸術的要素において海外にも今以上に浸透していくと思う。 ・今まで美術館で鑑賞したり、図書館で画集を借りたり、テレビで浮世絵を学んできたが、今回先生から時代背景や専門的なことを伺い、今まで学んできたことが立体的になった。今後もこのような講座を切望する。
III	再入門！！たのしい科学II (全6回)	仮説実験授業研究会 全国代表委員 湯澤 光男	10/15～ 11/26	(50) [20] 19	19 (100%)	昨年度の「再入門！たのしい科学」の第2弾として、今年度は「光学」「電気」「浮力」を取り上げた。実験をする前に「予想」をし、受講生からその「予想」の理由も聞きながら実験を行った。受講生は「予想」の段階から目を輝かせ、講師が実験を行うと、時に拍手が、時のため息が漏れるなど、講座は和気あいあいとした雰囲気の中で進められた。受講生は毎週楽しみに参加し、積極的に実験、工作を楽しみ、生き生きとした顔で帰られる姿が印象的な講座で、修了率は100%であった。	■満足度 94.1% ■感想 ・仮説を実証する。又考える。そしてトライする。学生に戻って楽しく過ごした。 ・考えて実際に目で確かめる授業は忘れられないと思う。次回、このような講座があればまた参加したい。孫と一緒に実験してみたい。 ・原理が分かり嬉しかった。 ・自分で行う実験がとても楽しい。長期間やっていただけるとありがたい。
【コース名】 I 郷土を愛する「宇都宮学」コース II 今を読み解く現代社会コース III 暮らしを彩る文化・教養コース			募集定員	300人	【総合的な評価】 6講座中3講座は定員を超える申込みがあり、キャンセルを見込むなど可能な限り定員を増やし受講決定をした。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、3密を回避するなど各種の感染防止策を講じ、全ての講座を予定どおり実施することができた。 修了率は例年と同水準の89.0%となった。また、受講者アンケートに関しても、成果が「とてもあった」「わりとあった」との肯定的な回答が多数を占めた。各講座とも受講者の高度で専門的な学習ニーズに応え、知的好奇心を刺激する企画内容であったことから、満足度の高い講座提供ができたと推察される。		
			応募者数	427人	【今後の課題】 引き続き、受講者ニーズの高い歴史や文学等の趣味教養的な講座のほか、現代的課題や旬の話題を取り入れた講座を実施していく必要がある。		
			受講者数	291人			
			修了者数	259人			
			修了率(修了者/受講者)	89.0%			

※修了者数は、4分の3以上の出席者

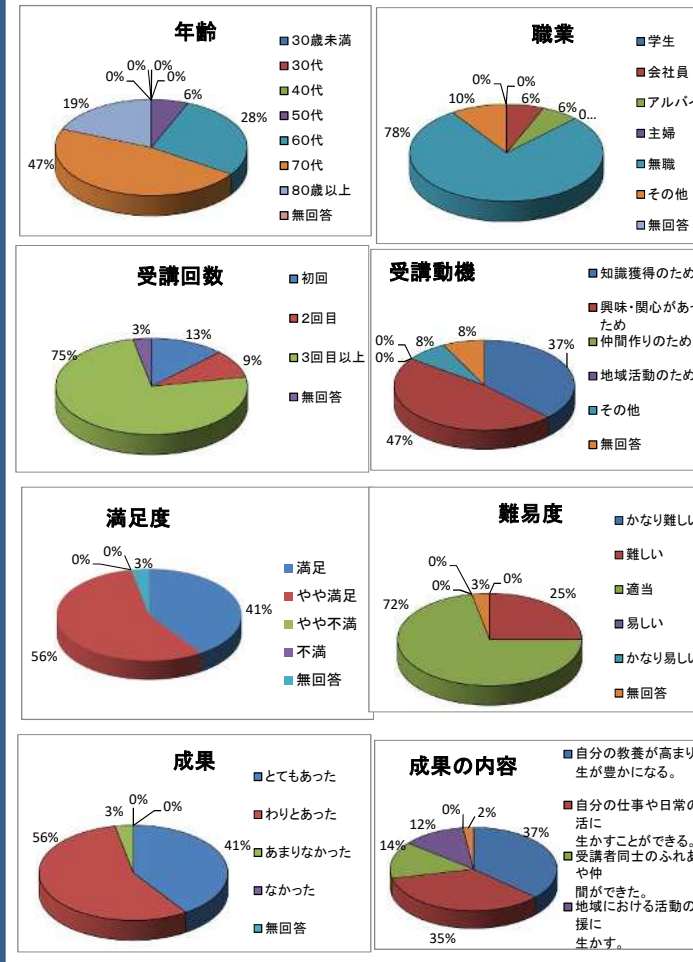
①名城に名将あり！下野の古城



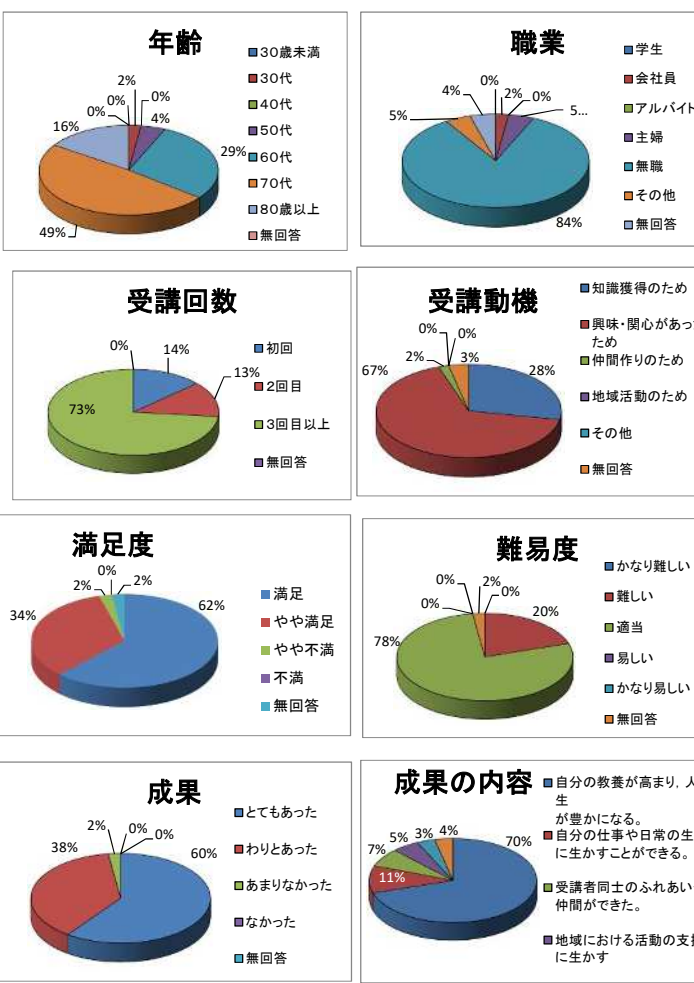
②宇都宮のシンボルニ荒山神社



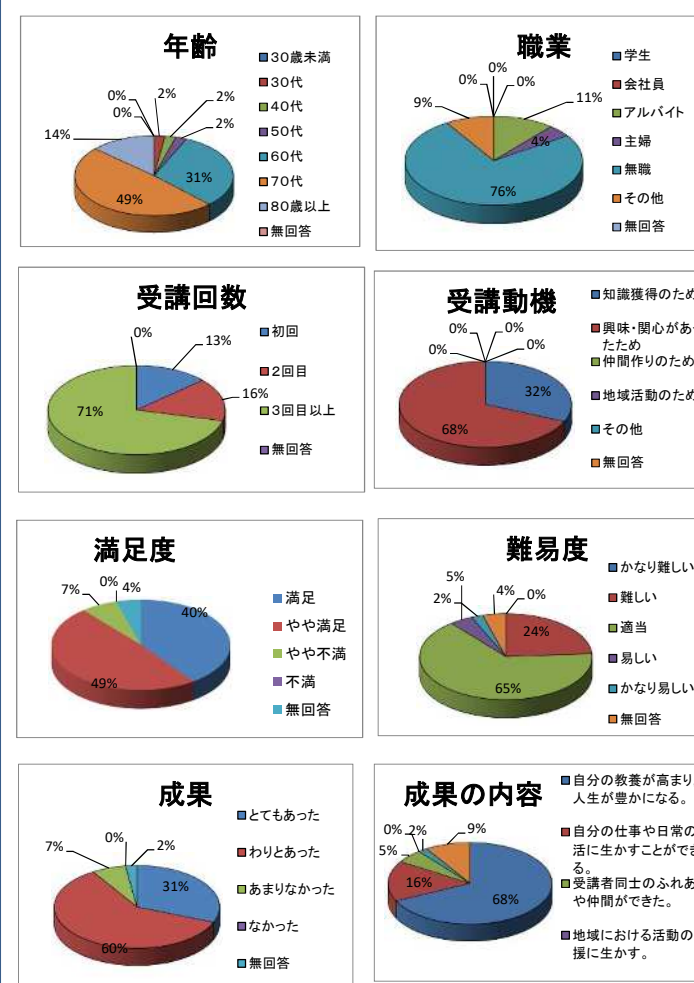
③人生100年時代のウェルネスを考える



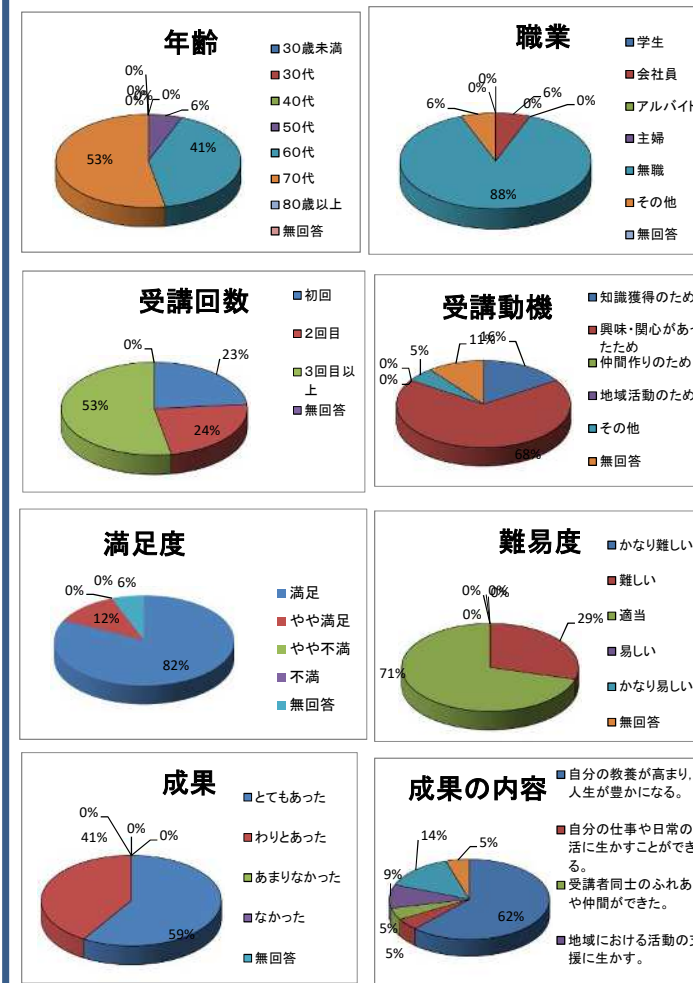
④仏像の魅力を探る



⑤浮世絵の魅力を知る



⑥再入門!!たのしい科学Ⅱ





## 令和4年度宇都宮市民大学公開講座の実施状況について

## 1 概要

日時 令和5年3月4日（土）13:30～16:00

会場 宇都宮駅東口交流拠点施設中ホール（ライトキューブ宇都宮）

内容 ①帝京大学コラボレーション企画（13:40～14:10）

**テーマ** 栃木県産の超小型人工衛星 TeikyoSat-4（おおるり）の挑戦等

**講師** 鶴田 佳宏 氏（帝京大学理工学部航空宇宙工学科講師）

帝京大学 大学生2名

②JAXA吉川氏による講演（14:10～15:40）

**テーマ** 「はやぶさ・はやぶさ2」のプロジェクトの概要や達成の秘話等

**講師** 吉川 真 氏（JAXA元はやぶさ2ミッションマネージャ）

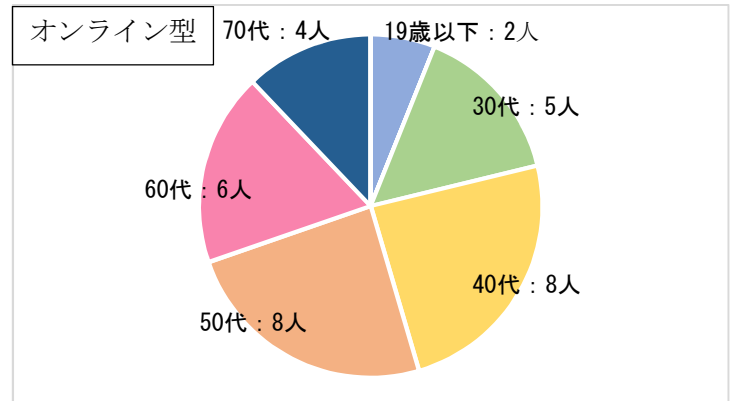
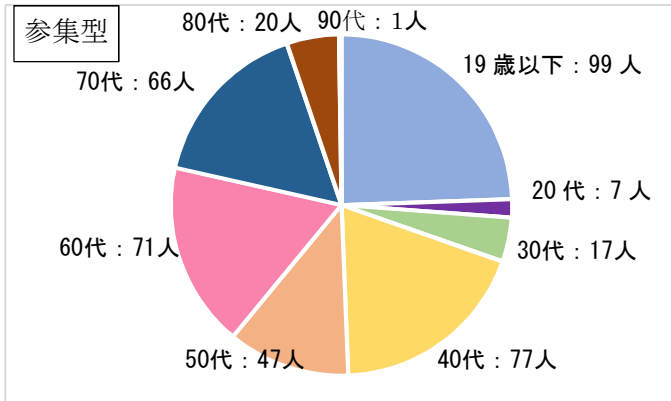
受講料 参集型 : 1人 1,000円（19歳以下無料）

オンライン型: 1端末 1,000円

## 2 申込者数

計438名 参集型 : 405名（20歳以上: 306名 19歳以下: 99名）

オンライン型: 33名（20歳以上: 31名 19歳以下: 2名）



## 3 評価

- ・帝京大学コラボレーション企画では、当初予定していた講師の代わりに若手研究者の登壇により、地元研究機関における宇宙工学の取組などの情報を発信することができた。
- ・吉川氏には、映像や模型などを使いながら高度な最新の研究成果に基づく講演をいただき、質疑応答では、小学生をはじめ、多くの方から手が上がるほど反響があった。
- ・会場では、帝京大学による「栃木県産の超小型人工衛星 TeikyoSat-4」に関する展示を行ったほか、プロジェクトに関わった同大学の学生の解説があったため、休憩中や講座終了後も多くの受講者が集まり大変盛り上がった。



#### 4 受講者の感想・意見

##### 【対面受講者から】

- ・知識はありませんが興味があり受けました。動画や先生のお話で、映画を観たような感動があり、胸が熱くなりました。難しいお話なのかと心配していましたが、とても楽しい時間になりました。  
(40代)
- ・JAXAの当時のエピソードや、最新情報まで聴くことができ、子供たちも大変喜んでいました。また、身近に宇宙に向けて活躍されている大学があることも分かり、実りの多い講演会でした。  
(40代)
- ・高度な最新の研究成果や貴重な資料を使い、分かりやすく講演いただきました。小学生の参加者も真剣に話を聴いていたのが印象的でした。帝京大の大学院の方の説明も、しっかりしていて好感を持ちました。  
(50代)
- ・写真や映像等で具体的に見られたのが良かったです。話だけでは難しかったと思いますので目で見てイメージがわかりました。  
(60代)
- ・会場は宇都宮駅に隣接する場所なので交通の便が良く、バスでも電車でも利用できるのもとても良かった。  
(70代)
- ・講座の内容をメモしたかったが椅子だけだったのでやりにくかった。今後大学や高校の机付きの教室の使用について検討してほしい。  
(60代)

##### 【オンライン受講者から】

- ・ズームで申し込みましたが、会場には展示物があると伺い、講演を聞き終えた後会場まで飛んで行きました。片付けの最中でしたが、帝京大学の方がとても丁寧に展示物を解説してくださいました。持ち帰ったサンプルから分かった最新の情報も教えていただいたので、コロナ禍で延期になりましたが、かえって延期されたことが不幸中の幸いだったように感じました。  
(60代)
- ・市民大学では自然科学系講座が少ない中、会場の質疑応答を聞く限り若い方の質問と思しき声が多く聞かれ、それまでの講座受講者の年齢層の違いを感じるに至った。帝京大学の工学部では航空宇宙が売りであるが、農業科学や農業工学、環境工学、養殖漁業をテーマに農業大学校などの協力を得た講座展開にも期待したい。  
(60代)
- ・オンラインで受講できるのは、外出しにくい高齢者には有り難かったです。  
(70代)
- ・他の講座も Zoom を活用していただきたい。  
(70代)
- ・休憩後の開始立ち上がりがうまくいかず、2分ほどロスが生じた。  
(70代)

講座名: 市民大学公開講座「宇宙すごいぜ! はやぶさ・はやぶさ2の挑戦」  
 実施日: 令和5年3月4日(土)

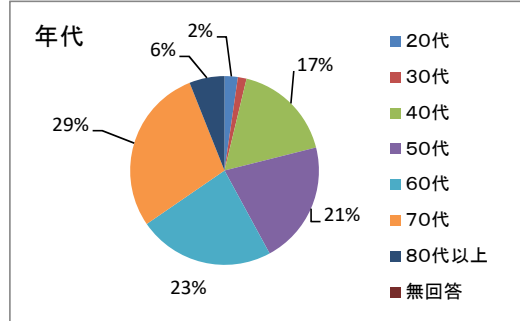
別紙6

回答者: 対面受講者

アンケート配布数	アンケート回収数	アンケート回答率
352人	164人	47%

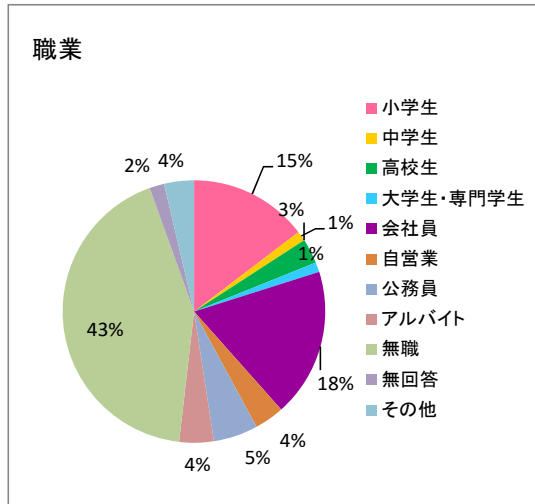
○ 年代

区分	人数(人)	割合
19歳以下	31	19%
20代	3	2%
30代	2	1%
40代	23	14%
50代	28	17%
60代	31	19%
70代	38	23%
80代以上	8	5%
無回答	0	0%
合計	164	100%



○ 職業

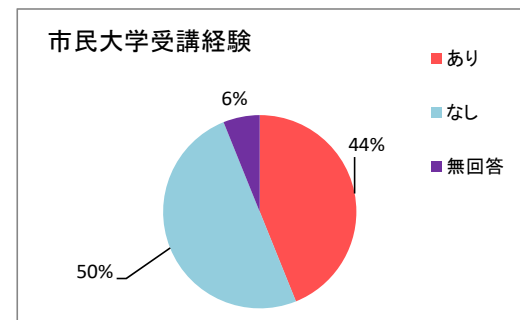
区分	人数(人)	割合
小学生	24	15%
中学生	2	1%
高校生	5	3%
大学生・専門学生	2	1%
会社員	30	18%
自営業	6	4%
公務員	9	5%
アルバイト	7	4%
無職	70	43%
無回答	3	2%
その他	6	4%
合計	164	100%



その他  
 私立高校教員, 教員, 手話通訳, 主婦, 団体職員, パート

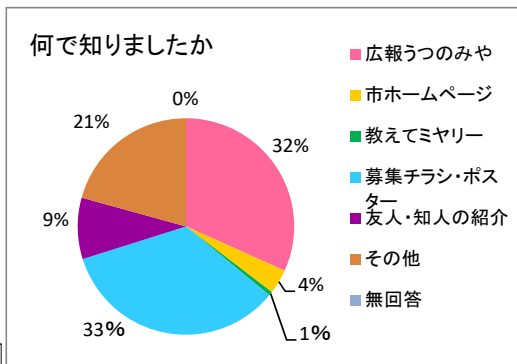
○ 市民大学受講経験

区分	人数(人)	割合
あり	72	44%
なし	82	50%
無回答	10	6%
合計	164	100%



○ この講座を何で知りましたか

区分	人数(人)	割合
広報うつのみや	52	32%
市ホームページ	6	4%
教えてミヤリー	1	1%
募集チラシ・ポスター	56	33%
友人・知人の紹介	15	9%
その他	34	21%
無回答	0	0%
合計	164	100%

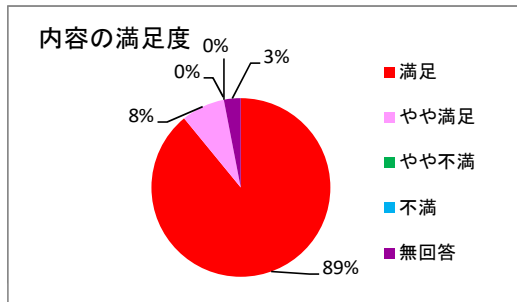


その他

案内の手紙がきた, 小・中学校からの紹介・配布  
 子どもの学校からの配布, 職場の広報,  
 市民大学からの開催案内

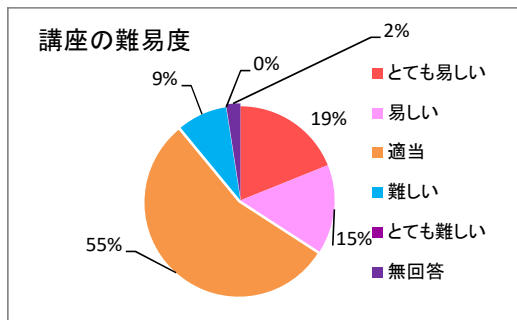
○ 内容の満足度

区分	人数(人)	割合
満足	146	89%
やや満足	13	8%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
無回答	5	3%
合計	164	100%



○ 講座の難易度

区分	人数(人)	割合
とても易しい	31	19%
易しい	25	15%
適当	90	55%
難しい	14	9%
とても難しい	0	0%
無回答	4	2%
合計	164	100%



講座名: 市民大学公開講座「宇宙すごいぜ！はやぶさ・はやぶさ2の挑戦」

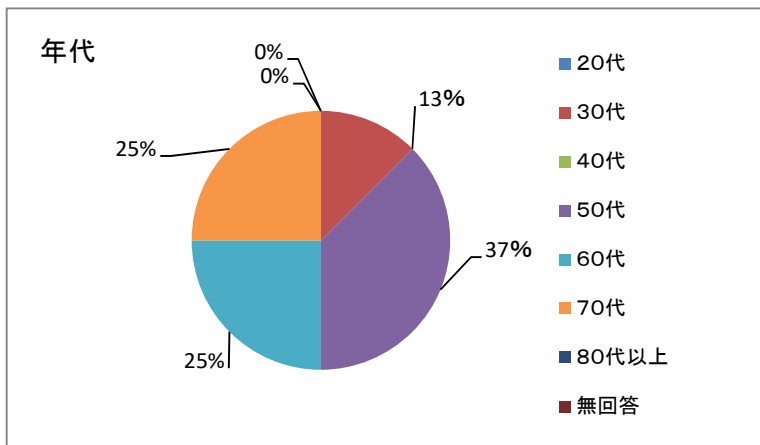
実施日: 令和5年3月4日(土)

回答者: オンライン受講者

アンケート配布数	アンケート回収数	アンケート回答率
28人	16人	57%

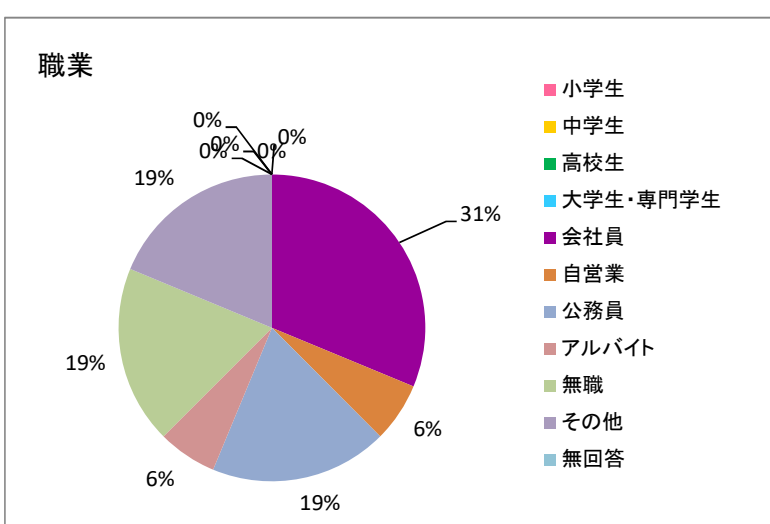
○ 年代

区分	人数(人)	割合
19歳以下	0	0%
20代	0	0%
30代	2	13%
40代	0	0%
50代	6	37%
60代	4	25%
70代	4	25%
80代以上	0	0%
無回答	0	0%
合計	16	100%



○ 職業

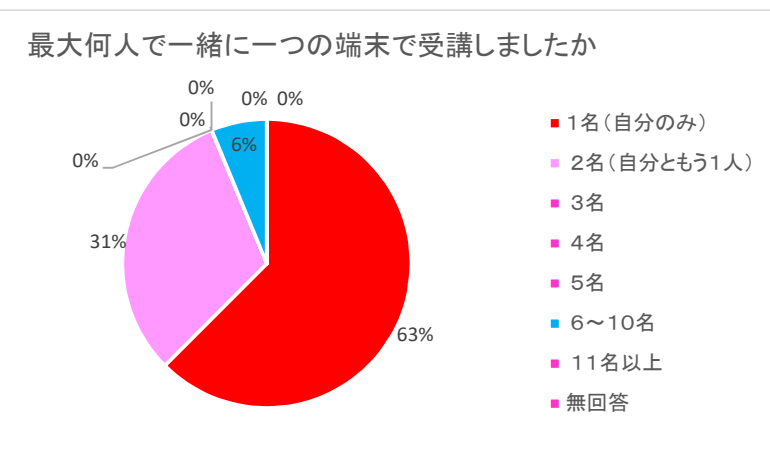
区分	人数(人)	割合
小学生	0	0%
中学生	0	0%
高校生	0	0%
大学生・専門学生	0	0%
会社員	5	31%
自営業	1	6%
公務員	3	19%
アルバイト	1	6%
無職	3	19%
その他	3	19%
無回答	0	0%
合計	16	100%



その他: 団体職員

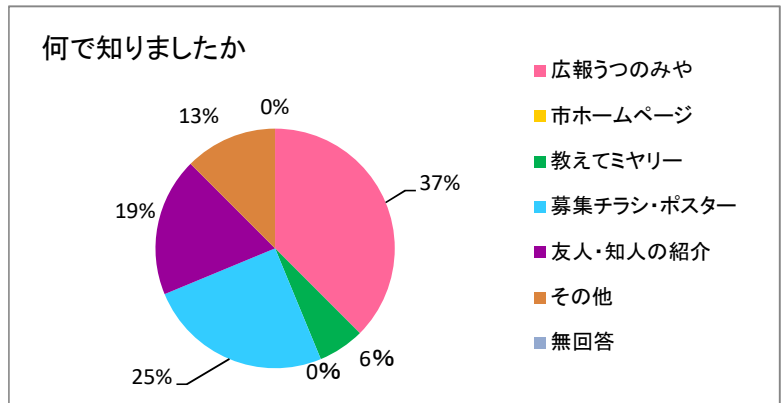
○最大何人で一緒に一つの端末で受講しましたか

区分	人数(人)	割合
1名(自分のみ)	10	63%
2名(自分ともう1人)	5	31%
3名	0	0%
4名	0	0%
5名	0	0%
6~10名	1	6%
11名以上	0	0%
無回答	0	0%
合計	16	100%



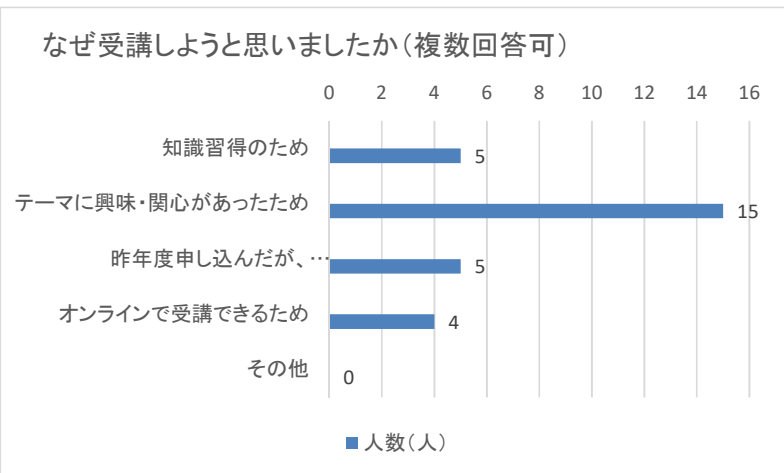
○ この講座を何で知りましたか

区分	人数(人)	割合
広報うつのみや	6	37%
市ホームページ	0	0%
教えてミヤリー	1	6%
募集チラシ・ポスター	4	25%
友人・知人の紹介	3	19%
その他	2	13%
無回答	0	0%
合計	16	100%



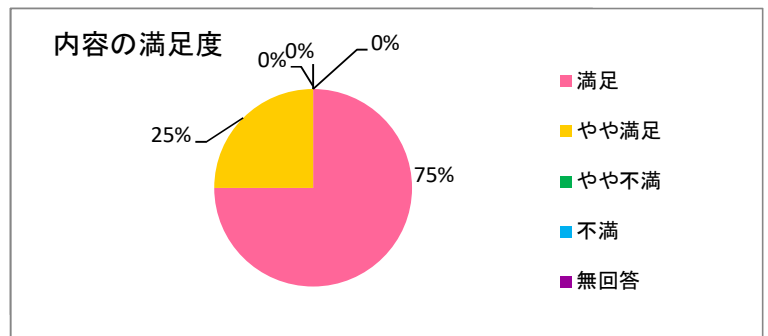
○ なぜ受講しようと思いましたか(複数回答可)

区分	人数(人)	割合
知識習得のため	5	31%
テーマに興味・関心があったため	15	94%
昨年度申し込んだが、受講できなかったため	5	31%
オンラインで受講できるため	4	25%
その他	0	0%
合計		



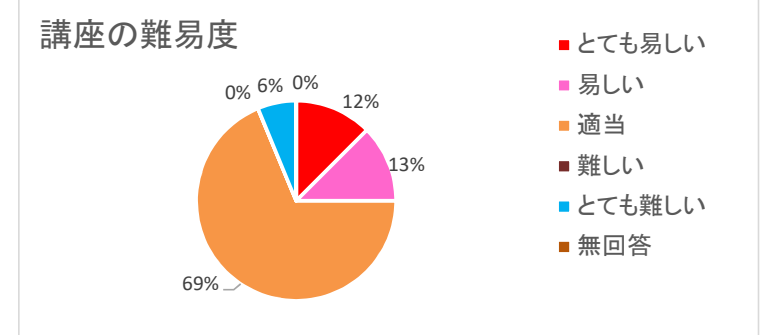
○ 内容の満足度

区分	人数(人)	割合
満足	12	75%
やや満足	4	25%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
無回答	0	0%
合計	16	100%



○ 講座の難易度

区分	人数(人)	割合
とても易しい	2	12%
易しい	2	13%
適当	11	69%
難しい	0	0%
とても難しい	1	6%
無回答	0	0%
合計	16	100%



## 令和 4 年度宇都宮市民大学収支決算書

## 収入の部

(単位:円)

款	項	当初予算額(A)	決算額(B)	差引(B)-(A)	摘要
1 交付金	1 市交付金	1,811,000	1,811,000	0	宇都宮市より
2 受講料	1 受講料	2,080,000	2,340,200	260,200	専門講座定員数の増に伴う受講者数の増
3 雑収入	1 雑収入	1,000	6	△ 994	預金利息
合 計		3,892,000	4,151,206	259,206	

## 支出の部

(単位:円)

款	項(目)	当初予算額(A)	決算額(B)	差引(B)-(A)	摘要
1 総務費		345,000	255,941	△ 89,059	
	1 報償費	312,000	234,000	△ 78,000	委員報酬, パンフレットデザイン謝金
	2 需用費	6,000	1,509	△ 4,491	会議茶代
	3 役務費	27,000	20,432	△ 6,568	手法変更による振込手数料の減
2 事業費		3,547,000	3,895,265	348,265	公開講座のオンライン委託料や会場使用料等の増
	1 報償費	2,330,000	2,011,060	△ 318,940	公開講座講師謝金
	2 需用費	648,000	785,246	137,246	感染対策等に伴う消耗品費の増
	(①消耗品費等)	279,000	382,663	103,663	衛生用品代, 講座紙代, インク代, 等
	(②食糧費)	10,000	8,673	△ 1,327	講師茶代
	(③印刷製本費)	349,000	393,910	44,910	パンフレット, 受講者証, 公開講座チケット・チラシ・ポスター作成代等
	(④修繕料)	10,000	0	△ 10,000	
	3 役務費	265,000	302,858	37,858	受講申込者数増に伴う通信運搬費の増
	(①通信運搬費)	238,000	287,898	49,898	パンフレット, 受講決定通知郵送料
	(②手数料)	27,000	14,960	△ 12,040	手法変更による振込手数料の減
	4 委託料	0	193,600	193,600	公開講座オンライン配信業務委託料の増
	5 使用料	79,000	404,401	325,401	公開講座会場・備品使用料, ZOOMライセンス料の増
	6 負担金, 補助及び交付金	225,000	198,100	△ 26,900	打合せの日数等の減に伴う専門講座企画運営費の減
合 計		3,892,000	4,151,206	259,206	

決算収入額 4,151,206 円

決算支出額 4,151,206 円

差 引 0 円

## 令和5年度宇都宮市民大学事業計画（案）について

## 1 令和5年度事業の考え方

本市の社会教育分野において最も基本となる計画である「第3次宇都宮市地域教育推進計画後期計画」に基づき、市民のスキルアップやキャリアアップに生かせる専門的で高度な学習ニーズに応えるとともに、「生涯学習センター主催講座」や「人材かがやきセンター主催講座」との差別化を図り、本市の生涯学習事業の中で唯一の有料講座として、心豊かに市民生活を送るための教養講座や、郷土愛を育む地域の文化・歴史講座など、市民の学ぶ意欲を高め、生きがいや精神的な豊かさなど市民生活に潤いを与える学習機会の提供に重点的に取り組む。

令和5年度は開学30周年を迎えることから、あらゆる機会を捉えて30周年の周知を行いながらこれまでの活動を振り返るとともに、更なる市民の学習意欲の高揚と生涯学習の啓発に努める。

専門講座においては、講座の企画・運営を担う「講座企画・運営ボランティアスタッフ」（以下、「Vスタッフ」という。）の固定化及び高齢化の現状を踏まえ、今後の事業の継続性や人材育成の観点から、令和4年度Vスタッフ養成講座修了生に事務局企画枠を提供し、新たな人材が市民大学の企画・運営に参画する機会を創出する。

引き続き、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら、感染症対策を徹底し、専門講座については、これまで50名であった定員の上限を60名に引き上げ、より多くの市民の学習意欲に応える。

## 2 前期専門講座

Vスタッフ企画講座5講座、文星芸術大学による大学連携講座1講座の計6講座を実施する。

- (1) 開催期間 令和5年5月22日（月）～7月11日（火）
- (2) 会場 人材かがやきセンター研修室（中央生涯学習センター5階）ほか
- (3) 募集期間 令和5年4月3日（月）～14日（金）
- (4) 実施講座 【表1】のとおり



【表 1】前期専門講座一覧

No.	講座コース・専門講座名（開講数）	主な講師	開催期間	募集定員
1	I 郷土を愛する「宇都宮学」コース 下野の戊辰戦争 ～宇都宮藩を中心に～ (全8回)	宇都宮市文化財保護審議委員会 委員 大嶽 浩良 氏	5/23 ～7/11	60人
2	II 今を読み解く現代社会コース 宇都宮の底力 ～新たな「エネルギー」と「まちづくり」～ (全6回)	宇都宮大学国際学部 教授 高橋 若菜 氏 ほか	5/26 ～6/30	60人
3	II 今を読み解く現代社会コース 幸せな暮らしのためのデジタル化・パート2 ～これまで進歩してきた科学と技術の世界～ (全7回)	帝京大学理工学部情報電子工学科 教授 小川 光洋 氏 ほか	5/27 ～7/8	60人
4	III 暮らしを彩る文化・教養コース 松尾芭蕉の生涯と下野の「おくのほそ道」 ～曾良と共に歩く、間々田宿から遊行柳まで～ (全8回)	大田原市黒羽芭蕉の館 学芸員 新井 敦史 氏 ほか	5/22 ～7/10	60人
5	III 暮らしを彩る文化・教養コース 和紙と芸術 ～日本の伝統素材を中心に～ 【文星芸術大学連携講座】 (全6回)	文星芸術大学美術学部 准教授 中村 寿生 氏 ほか	6/6 ～7/11	60人
6	III 暮らしを彩る文化・教養コース 身近な科学の不思議 ～実験・工作を通して考え、楽しもう～ (全6回)	宇都宮大学 名誉教授 田原 博人 氏	5/25 ～6/29	40人
計				340人

### 3 後期専門講座

Vスタッフ企画講座4講座，作新学院大学・作新学院女子短期大学部による大学連携講座1講座，事務局企画枠「令和4年度Vスタッフ養成講座修了生企画講座」1講座の計6講座を実施する。

- (1) 開催期間 令和5年10月～12月
- (2) 会場 人材かがやきセンター研修室（中央生涯学習センター5階）ほか
- (3) 募集期間 令和5年9月1日（金）～令和5年9月14日（木）
- (4) 実施講座 【表2】のとおり

【表 2】後期専門講座一覧（仮）

No.	講座コース名	専門講座名
1	Ⅱ 今を読み解く現代社会コース	人生百年時代をたおやかに生きる
2	Ⅱ 今を読み解く現代社会コース	知られざるキノコの世界
3	Ⅲ 暮らしを彩る文化・教養コース	みる！知る！わかる！慶派の仏像
4	Ⅲ 暮らしを彩る文化・教養コース	「吉澤章」命を宿す創作折り紙
5	【大学連携講座】 作新学院大学・作新学院女子短期大学 部連携講座（コース未定）	（未定）
6	【事務局枠】 令和4年度養成講座終了生「スマイル10」企画講座（コース未定）	（未定）

#### 4 公開講座

市民大学の更なる周知による認知度の向上と市民の受講促進を図るため、独立した講座として年1回実施する。

##### ○令和5年度公開講座実施（案）

- (1) 実施日 令和6年2月24日（土）
- (2) 会場 宇都宮市文化会館小ホールまたはライトキューブ宇都宮
- (3) 実施内容等 生涯学習に対する社会の要請や、市が推進する地域教育の理念を踏まえ、社会的関心や今日的課題に対応した講座内容及び講師を選定する。  
・講師の選定や開催手法等については次回の運営協議会にて協議
- (4) 受講料 1,000円程度を想定

## 令和5年度宇都宮市民大学収支予算書（案）

収入の部		R5	R4	(単位:円)	
款	項	本年度予算額	前年度当初予算額	比較増減	摘要
1	交付金	1,811,000	1,811,000	0	宇都宮市より
2	受講料	2,490,000	2,080,000	410,000	専門講座定員数の増に伴う受講者数の増
3	雑収入	1,000	1,000	0	預金利子
合 計		4,302,000	3,892,000	410,000	

支出の部		(単位:円)			
款	項(目)	本年度予算額	前年度当初予算額	比較増減	摘要
1	総務費	336,000	345,000	△ 9,000	
	1 報償費	308,000	312,000	△ 4,000	パンフレットデザイン謝金
	2 需用費	6,000	6,000	0	会議茶代
	3 役務費	22,000	27,000	△ 5,000	手法変更による振込手数料
2	事業費	3,966,000	3,547,000	419,000	
	1 報償費	2,409,000	2,330,000	79,000	講師謝金, 交通費
	2 需用費	493,000	648,000	△ 155,000	衛生用品等の在庫確保に伴う消耗品費の減
	(①消耗品費等)	120,000	279,000	△ 159,000	講座紙代, インク代等
	(②食糧費)	10,000	10,000	0	講師茶代
	(③印刷製本費)	353,000	349,000	4,000	パンフレット, 受講者証, 公開講座チケット・チラシ・ポスター作成代等
	(④修繕料)	10,000	10,000	0	機器修繕料
	3 役務費	278,000	265,000	13,000	受講申込者数増に伴う通信運搬費の増
	(①通信運搬費)	261,000	238,000	23,000	パンフレット郵送料等
	(②手数料)	17,000	27,000	△ 10,000	手法変更による振込手数料
	4 委託料	179,000	0	179,000	公開講座オンライン配信業務
	5 使用料	307,000	79,000	228,000	公開講座会場使用料, ZOOMライセンス料等
	6 負担金, 補助及び交付金	300,000	225,000	75,000	講座企画運営費
合 計		4,302,000	3,892,000	410,000	

## 宇都宮市民大学運営協議会運営要領

適用 平成 4年5月1日  
平成12年7月1日  
平成14年9月1日  
平成16年4月1日  
平成22年4月1日  
平成22年9月1日  
平成26年9月1日  
平成27年4月1日

(趣旨)

第1条 この要領は、宇都宮市民大学実施要綱（以下「要綱」という。）第4条第4項に規定する宇都宮市民大学運営協議会（以下「協議会」という。）の運営について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第2条 協議会は、宇都宮市民大学に関し次の各号に掲げる事務を行う。

- (1) 講座の企画の承認に関すること
- (2) 運営に関すること
- (3) 予算及び決算の承認に関すること
- (4) 市内高等教育機関との共催事業に関すること
- (5) その他必要と認める事項

(組織)

第3条 協議会は、委員10人以内をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから要綱第4条第2項に規定する学長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 生涯学習関係者
- (3) 宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ

3 協議会は、専門講座の企画運営の選考をさせるため、宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会を設置することができる。

4 第2項の委員のうち1名は、宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会委員を兼ねるものとする。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任することができる。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長1人を置き、委員がこれを互選する。

2 会長は、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上の者が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

4 会長が必要であると認めるときは、協議会の委員以外の者の出席を求めることができる。

5 前項に定める出席を求められた者は、議事の決定に加わることはできない。

(監査)

第7条 協議会に監事2人を置き、会長がこれを指名する。

2 監事は、協議会の会計を監査する。

(庶務)

第8条 協議会の庶務は、要綱第4条第5項に規定する事務局（教育委員会事務局生涯学習課）が処理する。

(補則)

第9条 この要領に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。